

「食と農の再生」に向けての研究開発の促進

「食の安全と安心の確保」、「農業の構造改革の加速化」、「都市と農村の共生・対流」を軸とした骨太の研究開発プロジェクトを展開するとともに、経済活性化に直結する実用化技術の開発を促進。

29,313(10,042)百万円

1 ポイント

(1) 食品の安全性に関する研究

1,347(82)百万円

食品の表示項目を科学的に検証するための研究開発、食品の安全性にかかる分析・検出技術の高度化・迅速化、リスク低減化技術の開発等を厚生労働省等との連携のもとに実施。

(2) 牛海綿状脳症(BSE)制圧のための技術開発

1,545(0)百万円

BSEについて、プリオン蛋白質の性状解明、診断技術の開発、環境中の異常プリオン蛋白質の不活性化技術の開発等を厚生労働省、海外の研究機関等との連携のもとに実施。

(3) ゲノム情報・技術活用による先端的研究の推進

① 植物(イネ)・動物ゲノム研究

10,732(5,863)百万円

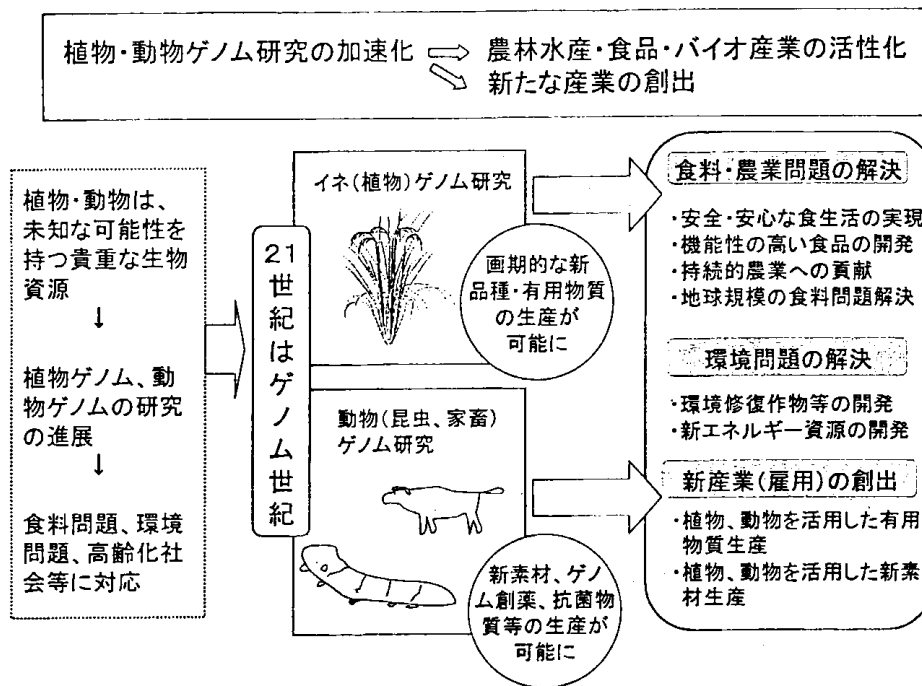
イネゲノムについて、主要部分の塩基配列解読の完了を受け、重要形質に着目した機能解明、ゲノムの種間・属間比較研究等を実施するとともに、ゲノムデータと研究成果を結集するゲノムリソースセンターを整備。

また、動物ゲノムについて、DNAマーカーを用いた高品質育種を促進。

② 21世紀最大の未利用資源活用のための「昆虫テクノロジー」研究

3,112(233)百万円

化学合成できない生体高分子、有用タンパク質を生産する昆虫の機能を活用するため、有用タンパク質の生産工程(昆虫工場)の確立、昆虫のタンパク質の立体構造解析による農業用「ゲノム創薬」の開発、昆虫由来の新素材の開発を推進。



(4) 新鮮でおいしい「ブランド・ニッポン」農産物提供のための総合研究

3,922(2,056)百万円

消費者等の参画による技術開発戦略委員会を設置し、「ブランド・ニッポン」農産物の確立のための研究方向の明確化を図るとともに、これを踏まえて高品質、安全・安心等消費ニーズを実現するための新品種及びこれらの特性を発揮させる栽培技術を開発。

(5) 産学官連携による革新的技術の開発

科学技術基本計画、経済活性化戦略で重視されている競争的資金の活用により、産学官連携による研究を促進。

①先端技術を活用した農林水産研究高度化事業

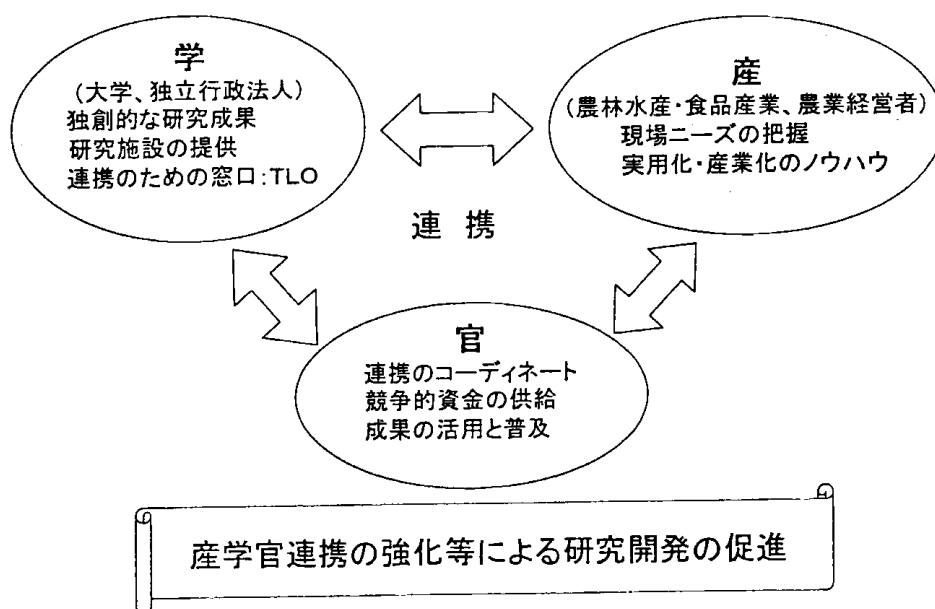
3,863(1,808)百万円

地域の農林水産業・食品産業等の活性化を図るため、地域の研究開発に係る企画から実施までのシステムを改革し、新たに生産者自らの参加による現場のアイデアを活用した研究開発、食品企業等の参画の下に行う地域の特色を活かした農林水産物の生産、加工技術の開発等を推進。

②産学官のコーディネート活動、生物系産業技術研究の支援強化

3,392(0)百万円

産学官連携強化のための人的交流、情報交換等の活動を強化するとともに、若手研究者の独創的な着想に基づくきらりと光る研究や、異なる分野の研究者の参画による生物系産業技術の実用化研究等に対する支援により、新産業創出・企業化を促進。



(6) 農林水産生態系における有害化学物質の総合管理技術の開発

1,400(0)百万円

農林水産生態系における有害化学物質（カドミウム、ダイオキシン等）について、その動態の把握、生物、生態系への影響評価を行うとともに、分解・無毒化技術の実証研究等を通じたリスク低減技術を開発。

2 事業実施主体

独立行政法人、大学、民間等

[担当窓口課：農林水産技術会議事務局総務課(03-3591-7902(直))]